

(款) 10総務費 (項) 5総務管理費 (目) 25企画費

◎事務管理の経費

行財政改革推進事業

【 経営企画課・行革推進課 】

【総合計画上の位置づけ】

計画の前提

行財政運営: 地方分権社会に対応した持続可能な行財政基盤の確立と効果的な都市経営をめざします

【事業の目的】

対象 市職員等

意図 本市の厳しい行財政運営の中、限られた行政資源を効率的・効果的に運営するため。

効果 健全で市民にわかりやすい効率的な行財政運営の実現

【事業の内容】

(1) 行財政改革推進事業

- ・ 行財政改革の推進及び進行管理、鎌倉行革市民会議の開催を行った。
- ・ 事務事業評価を全341事業で、施策進行評価を全27分野で実施した。
- ・ 鎌倉市民評価委員会による外部評価(20事務事業、全27分野)を実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

行財政改革推進事業(0-Ⅱ-2-①)

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
714	882	719		163
主な支出内訳				
・ 行財政改革推進事業				
行政評価アドバイザー等報償費				600
鎌倉行革市民会議委員報償費				119

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名 称	□サービス部門 経企-03 行財政改革推進事業 ■支 援 部 門							
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	969 行政評価事務						
主管課	経営企画課					関連課		
分野名	行財政運営							
目標 (目標値)	行政評価の結果を中期実施計画の進行管理に活用 27分野の施策進行評価(内部、外部)を継続する。							
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考			
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日			
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯				
運営資源 状 況	決算値	600千円	331千円	404千円				
	(国・県)							
	(負担金等)							
	(一般財源)	600千円	331千円	404千円				
	人員配置数	2.0人	2.0人	2.0人				
	人 件 費	18,970千円	19,578千円	19,279千円				
	協 働 の パートナー	鎌倉市民評価委員会	鎌倉市民評価委員会	鎌倉市民評価委員会				
事務事業 運営経費	総事業費	19,570千円	19,909千円	19,683千円				
	市民1人当 りの経費	111円	113円	112円				
	対象者1人 当りの経費							
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価								
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価		
施策進行外部評価		全27分野について評価を実施。中期実施計画の策定に活用。			④	① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)		
事務事業評価		個別事業に対する評価を強化			④			
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(27年度)	
事務事業評価においてす べての事務事業を対象とす ること	◎	目標値	344	341	すべての事務事業	すべての事務事業	すべての事務事業	
		実績値	344	341				
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(27年度)	
施策進行評価においてす べての分野を対象にすること	◎	目標値	27	27	27	27	27	
		実績値	27	27				
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(27年度)	
政策分野別目標指標の目 標達成率(平成27年度目 標)	○	目標値					100%	
		実績値	9.9%	19.8%				
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)	
		目標値						
		実績値						
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	逗子市	三浦市	横須賀市	茅ヶ崎市		
施策評価	実施中	実施中	実施中	施行中	実施中	—		
事務事業評価	実施中	実施中	実施中	施行中	実施中	実施中		
外部評価	実施中	実施中	実施中	—	実施中	—		

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・行政評価については職員にかなり浸透してきたが、行政評価に対する負担感を感じている職員がいまだ多い。 ・施策進行評価において評価ではなく、取り組みの結果の表記で終わっている箇所がある。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・職員研修及び庁内説明会を充実し、新採用職員から管理職まで延べ243名が参加した。この中で、行政評価が都市経営に不可欠なツールであるとの認識を深めた。 ・事務事業評価及び施策進行評価の説明会において、都市経営(PDCAサイクルを含む)を意識した評価を行うよう要請し、各評価シートにおいても改善が進んだ。 ・個別事業に対する評価を充実した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・施策進行評価において、一部の分野で実施した事業の列記のみのものが見られた。 ・行政評価の成果が市民に伝わりにくかった。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・職員に理解されるようにわかりやすい説明を実施するとともに経営企画課における確認を実施する。 ・行政評価の成果が市民にわかりやすくなるように表現方法に工夫を加える。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性
	19年度は施策進行評価の内部・外部評価を実施し、20年度はそれぞれにおいて27分野を対象として評価を実施した。これらの評価結果を中期実施計画の策定に活用できたことは大きな前進と考えている。今後も必要な範囲で行政評価の精度を高めることによって、行財政改革に役立てていきたい。		有
担当課長氏名:		経営企画課長 嶋村 豊一	

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性
	今後も行政評価を充実しつつ、都市経営を行う上での重要なツールとして、また、市民のみなさんへの説明責任を果たす大切なツールとして活用していく。		有
担当部名	経営企画部	部長名	小村 亮一

[illegible]

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・外郭団体の見直し、補助金の見直し、収入確保への取り組みに力を入れていく。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・外郭団体の見直しについては、当初指名により指定管理者となった一団体が、更新にあたり、公募による選定で指定管理者として指名された成果があった。 ・補助金の見直しについては、平成21年度予算編成にあたり、目的、必要性、効果、公益性の視点から精査を行った。 ・収入確保への取り組みについては、新たにスポーツ施設の駐車場及び青少年会館の有料化を実施した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・収入確保対策への取り組みについて、公費負担と受益者負担についての検討ができなかった。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・指定管理者導入施設の多くが平成22年度の更新時期を迎えるため、更新にかかる手続き等について、庁内調整を行っていく。 ・収入確保への取り組みについて、受益者負担のあり方につき近隣自治体からの資料収集、分析を行い、収入確保対策プロジェクトを立ち上げ、検討を行っていく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性
	鎌倉行政経営戦略プランも3年が過ぎ、アクションプログラムについて目標の具体化をより明確にする時期となっている。現状から見て取組みが遅れているものなど、見直しが必要なプログラムについては整理を行い、目標設定の見直し等をしていきたい。		有
担当課長氏名:		廣瀬 信	

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 C:統合又は縮小 E:事業完了 B:現状のまま継続 D:廃止又は休止	A	改善の必要性
	「鎌倉行政経営戦略プラン」の着実な推進を図るため、鎌倉市革市民会議による評価や意見も参考に進行管理を行い、目標の変更等が必要なプログラムについて整理しながら、確実な目標達成を目指し取り組んでいく。		有
担当部名	経営企画部	部長名	小村 亮一